

事業者向け 放課後デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも言えない	いいえ	改善項目、工夫している点など
環境・体制等	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	7			・必要に応じて静養室・相談室も利用している。スペースは十分だと思うが、児童の成長により手狭に感じる事が予測される。
	②	職員の配置数は適切であるか。	5	2		・基準以上の職員配置を行っているが、1対1の支援が多い日には職員不足を感じる為、常に適度の職員配置をできるようにしていきたい。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか。	1	3	3	・玄関に階段である為、簡易スロープを設置を目指しているが未設置である。改善できるように努力していく。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	1	2	2	・なかなか浸透していないが月1回の職員・支援会議で情報共有・各児童に対しての支援内容などを検討している。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意思等を把握し、業務改善につなげているか。	5	2		・保護者評価に基づき要望等については改善に努めている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	5	1		・毎年3月に法人HPに公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	2	3	・現在は、第三者による外部評価は行っていない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	4	2	1	・コロナ禍であるため、主にオンライン研修を実施。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	3		・保護者面談時にアセスメント・モニタリングを行い、個別支援計画に反映させている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	2	5		・今後標準化されたアセスメントツールを使用していく。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	1	5	1	・活動プログラムについては、一部の職員での立案の為、全職員で日々の活動プログラムを考えていく必要がある。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	4		・週間予定表に沿って、集団・個人プログラムと出来る限り固定化しないように、また季節ごとのさまざまなプログラムを提供できるようにしていく。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか。	1	4	2	・現在、コロナ禍で外出が難しいが週間予定表に基づき支援を行っている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	1		・各児童の日々変化する成長に合わせて計画している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	3	3	1	・出勤時に簡単な打ち合わせにてその日の支援内容を確認している。

	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	2	3	・支援終了後にその日の児童の様子などを職員間で共有、不在職員には連絡ノートや口頭で伝えている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	2		・毎回保護者間での連絡ノートと支援日誌に記録している。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか。	6	1		・定期的に保護者に対して日々の様子などを聞き取り、計画を作成している。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	3	4		・地域との交流がない為、必要に応じて実行していく。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	6	1		・必要に応じて参画している。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	5	2		・地域の特別支援学校・小・中学校との連携は行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか。	1	4	2	・現在は医療的ケアが必要な児童は利用していない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	5	1	・就学前に利用していた保育所等との情報共有はしていく必要がある。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	3		・損段支援センターとも連携を図り、必要であれば提供していく。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。		5	1	・現在は連携・助言・研修は行っていないが、必要に応じて行っていく。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。	1		6	・現在は行っていないが、機会があれば参加したい。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。		3	4	・協議会などの参加はしていない。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	1		・連絡ノート・送迎時を通して行っている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか。		6	1	・必要に応じて行っていく。
保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	1		・利用契約時に丁寧な説明をするように努めている。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	5	2		・必要に応じて対応している。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。		4	3	・今年度もコロナ禍の為開催はしていない。状況に応じて対応していく。

	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			・苦情については、適切に対応できるように整備している。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3		4	・今年度は1回通信を発行しましたが、来年度は年3回発行を目指していく。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか。	7			・全職員に対して取り扱いに十分に注意するように指導している。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	2		・障害特性に応じたコミュニケーション方法を取り入れて支援している。保護者には連絡ノートを活用し情報伝達を行っている。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	1	4	・実施はしていない。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか。	3	4		・各マニュアルについてはほぼ整備しているが再度内容を精査する。また、新たに感染症マニュアルを算定しているが職員・保護者共に周知不足があるので会議・面談等で周知をしていく。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	1		・年2回消防署立ち合い避難訓練を実施している。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	2		・全職員にオンライン研修にて受講している。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	2	4		・記載が必要な児童はいない。しかし、「どのような場合」というところは明確には定められていない。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	1	3	2	・該当者なし。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	7			・些細な事でも報告し、共有するようにしている。